



工学部広報

令和6年度日本大学特待生賞状・日本大学各種奨学生証書授与式を執り行いました

7月18日(木)、62号館(ハットNE)3階6231教室において、令和6年度日本大学特待生賞状・日本大学各種奨学生証書授与式を執り行いました。107名の各種受賞者に対し、根本修克工学部長より日ごろの努力への敬意と激励の言葉が送られました。



土木女子の会で「国道13号浅川トンネル」の工事現場の見学を行いました

8月2日(金)、土木女子の会に所属する女子学生13名(1～3年次生)と建設現場に関心のある男子学生2名が「国道13号浅川トンネル」の工事現場を見学しました。普段見ることができないトンネル工事の現場は想像以上に大きく、現場の迫力を肌で感じられたようでした。



令和6年度保護者面談会を開催しました

9月7日(土)・8日(日)に各地方都市14会場、14日(土)に工学部キャンパスにて、学生支援・サポート体制の充実を目的に、希望の保護者を対象とした個人面談を実施しました。9月25日(水)・26日(木)・27日(金)にはオンライン形式でも実施。全日程で多数の参加があり、有意義な面談となりました。



「竹筋コンクリート復活プロジェクト」がテレビ東京系列「ガイアの夜明け」で紹介されました

9月27日(金)放送のテレビ東京系列「ガイアの夜明け」にて、土木工学部コンクリート工学研究室(子田康弘教授)、機械工学部サステナブルマテリアルデザイン研究室(杉浦隆次教授)が産学官民一丸となって取り組む「竹筋コンクリート復活プロジェクト」が紹介されました。

「ロハス工学センター棟ロハスの森『ホール』」が第23回緑化技術コンクールで環境大臣賞を受賞しました

「ロハス工学センター棟ロハスの森『ホール』」は公益財団法人都市緑化機構が主催する第23回緑化技術コンクール 緑化施設部門において環境大臣賞を受賞しました。ロハス工学の新たな拠点として様々な新しい取り組みを進めてきたこの建築は各方面から評価され注目を集めています。



【地域貢献】学科・分野横断による研究成果を出展しました

10月17日(木)・18日(金)に、第13回ふくしま再生可能エネルギー産業フェア(REIFふくしま2024)が開催され、工学部から学科・分野を横断する研究成果が出展されました。



【電気電子工学科×生命応用化学科】ハライドペロブスカイト(HPv)太陽電池社会実装に向けた教育エコシステム拠点の形成 / 【建築学科×電気電子工学科】コンクリート蓄電デバイス / 【機械工学科】IoT&ロボット、全固体電池に関する研究

建築学科住環境計画研究室が国土交通省「令和6年度都市景観大賞」で優秀賞を受賞しました

この度、建築学科住環境計画研究室(市岡綾子専任講師)と白河市が協働で児童を対象に実施している「白河市における景観学習」が、国土交通省「令和6年度都市景観大賞」景観まちづくり活動・教育部門で優秀賞を受賞しました。小学生児童の育ちのモデルとなる大学生もかわかり、地域社会との連携性や協働性が顕著な景観学習を推進し、進化・深化する可能性が期待できる取り組みとして高く評価されました。



徳定川・古川池清掃活動「2024秋の陣」!

10月26日(土)に工学部の学生・教員・卒業生と古川池愛護会による清掃活動が行われました。清掃終了後は恒例となった懇親会も開催し、地域貢献と研究活動、さらに学生たちが将来を考える就職活動の機会にもなりました。



市民公開シンポジウム 第12回ロハス工学シンポジウムを開催しました

11月2日(土)、62号館(ハットNE)3階6231教室において「ロハス工学からロハス学への進化を目指して～ロハス工学の視点から考えるこれからの地域づくり～」をテーマに第12回ロハス工学シンポジウムを開催しました。社会学、介護、医学の有識者による基調講演、地域づくりを進めるキーパーソンの方々とパネルディスカッションが行われました。



女子の会交流会を開催しました!

11月19日(火)、55号館8階スカイレストランにて土木女子の会と電気電子女子の会が交流会を開催しました。交流会では、学科学年混成ペアによる他己紹介、伝言ゲームなどを行い、楽しい時間を過ごしました。最後はチームに分かれて学校に望むことを書き出し、「わかる!」「確かに!」と共感し合いながら、盛り上がりを見せていました。



Graduate School of Engineering 大学院進学のスズメ



CONTENTS

大学院特集

- 大学院修了生クローズアップ 1-3
- 就職内定者が語る! 大学院の魅力 4
- 大学院進学の特典 5
- 大学院の支援制度 6
- 令和8年度大学院入試 6

第74回北桜祭

- 『不屈の桜 ～伝統を未来へ共に～』 7-8
- 学生の活躍 9-10
- 学科トピックス 学生の好奇心をかきたてる学び 11-12
- 『24時間テレビ47』
工学部キャンパスを会場に多彩なイベントが開催! 13
- 令和6年度科学研究費助成事業交付者 14
- 工学部だより 15



大学院進学のスズメ

大学院進学か就職か、キャリア選択に悩む学部生の方も多いことでしょう。専門的な職種に就く可能性を広げる大学院進学。輝ける未来の姿を目指して大学院を選んだ先輩の、今を紹介します。

無数の可能性

その経験で手にしたものは、

先を見据えた大学院進学という選択。

鹿島建設株式会社
東京建築支店勤務

木村 悠人さん

2022年度建築学専攻博士前期課程修了
群馬県/高崎経済大学附属高校出身



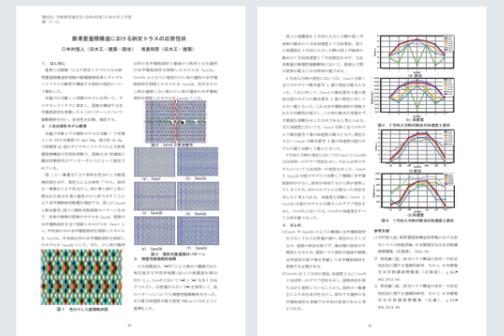
建築分野の多様な専門知識を身につけるために

人々の暮らしの基盤となる建物に興味があり、それをつくる仕事に就きたいという思いから、建築を学ぶために大学に進学しました。入学当初から理系なら大学院進学は当たり前と思っていましたが、実際に学んでみて、建築は奥が深く、大学院でもっと専門知識を身につけてから就職した方が良いと感じました。また、法改正により学部卒業と同時に一級建築士の受験資格が得られることになり、働きながら勉強するよりも学生のうちに取得しておいた方が良かったらうと思ったことも進学を後押しする要因になったのです。



安全で耐久性の高い建物をつくるための研究に取り組む

私は鋼構造デザイン研究室に所属し、3次元解析モデルを使った鉄骨造建築物の耐震改修手法に関する研究に取り組みました。主に斜交トラスで構成された鉄骨置屋根構造体育館の耐震補強効果を検証するとともに、ダイヤモンドトラスの剛性や構成する部材についても検討しました。学部生の時とは違い、主体的に研究を進めていかなければならないので、取り組む姿勢は変わったと思います。また、指導教員と密接に関わっていくところに学部生との違いを感じました。学会で発表する機会も増え、建築に関する知識も益々深まってきました。



大学院時代の論文「鉄骨置屋根構造における斜交トラスの応答性状」
浅里和茂教授との連名で発表

在学中の一級建築士試験合格を目標にして

研究と同時に大学院では一級建築士の試験合格に注力しました。資格は将来必ず役に立つと考え、学部生の時には大学で開講されていた宅建講座を受講し、学部2年次に宅地建物取引士の資格を取得。学部4年次の夏頃から一級建築士試験に向けての勉強を始めました。週の前半は前週の復習や課題に取り組み、後半は予習をして日曜日に予備校で授業を受けるというサイクルを1年間続けました。大学院に進学してからは、研究との両立に苦労することもありましたが、

研究の隙間時間を有効に活用して、ほぼ毎日試験勉強に励む日々でした。しかし、大学院1年次に受けた学科試験は落ちてしまい、設計製図の試験も受けることができませんでした。そこから過去問を必死に勉強して完璧に準備した結果、翌年は学科試験をクリアし、製図に関しては短期間ではありましたが、初挑戦ながらも1回で合格することができました。この挑戦は自分にとって大きな自信になっただけでなく、就活でも大いに役立ちました。





研究を通して得た知識の深さと資格への挑戦は就活にも有利

スーパーゼネコンへの就職を目指していた中で、鹿島建設は人の良さが際立っていました。特にリクレーターの方が親身にアドバイスをくださり、一級建築士の試験に合格した際も大変喜んでくださったのを覚えています。ここで私も働きたいという気持ちになりました。就活に臨む時には、まだ一級建築士試験に合格する前でしたが、挑戦していることは高く評価していただけたようです。さらに面接では研究に関する質問もあり、中身をしっかりと理解したうえで説明できる大学院生は有利だと思いました。

建設現場をマネジメントできる技術者になるために

現在の仕事は施工管理。希望していた東京都内の職場に配属になったのも、一級建築士の試験に合格していることが有利に働いているようです。実際に働いてみて、仕事をしながら資格の勉強をするのはかなりハードだと感じました。改めて、在学中に取っておいて良かったと思います。初めての現場は、東京都内にある事務所兼住宅のビルの建設現場でした。一級建築士試験の知識はもちろん、大学院で身につけた建物に関する詳細な知識や目上の方や後輩と接する中で培ったコミュニケーション力も実際の現場で活かされていました。建物が完成するまで約1年半、様々な工種を経験し現場監督や上司からの丁寧な指導のおかげで、施工管理としての基本的な仕事を学ぶことができ、自分でも成長したなと実感しています。



次の現場では任せられることも増えると思うので、自分の力を存分に発揮しながら、みんなで協力して建物を無事完成させたいと思います。さらに建築に関する様々な資格取得にも挑戦し、ゆくゆくは工事全体をマネジメントできるようになりたいと思っています。将来を考えた時に、希望通りのやりがいのある仕事に就くためにも、大学院に進学することは大きな意義があります。研究でも資格取得でも、学生のうちに徹底して打ち込んだと言えるものをつくるのが大切です。

鹿島建設株式会社 人事担当者からのメッセージ

自ら考え判断し
実行できるリーダー的な
役割を担う人材を

当社の建築技術系社員は、現場の安全管理から品質管理、工程管理まで、建築ものづくりの最前線をリードして高品質な建物を完成させる役割を担っています。建設プロジェクトには、発注者、設計者をはじめ、協力会社、行政や近隣の方々などたくさんの人が関わっています。現場のリーダーとしてその中心に立ち、多くの関係者と協議を重ね、常に最適解を「決める」ことが求められます。時には現場の職人の方々と打ち合わせをしたり、上司や部下と話し合うこともありますが、自分がどのように考えているのかを伝え、様々な人たちから意見を聞いて情報収集し、その上で、自分で考えて判断し実行する。受身で仕事をするのではなく、積極的に行動していかなければなりません。まさに、日本大学の教育理念である「自主創造」に通じるものがあります。

海外勤務はもちろんのこと国内勤務においても社員には一級建築士等の国家資格が求められます。難関の資格ですから、その資格を学生のうちに取得できたということは、努力を惜しまず計画的に勉強することができる、すなわち責任を持って計画的に業務を遂行できる人材だと推察することができます。研究でも資格でも、何か学生のうちに打ち込めるものを見つけて、全力でやり遂げてください。それは社会に出てからも大きな武器になるでしょう。建築ものづくりの最前線で活躍できることを期待しています。



鹿島建設株式会社
建築管理本部
建築企画部
人事・教育グループ

佐藤 方成 氏

大学院の魅力

利用した制度 ▶ 学内奨学金 学外奨学金 特待生制度 TA チューター 海外短期留学

将来像を明確にし、
研究を究めて
自分の価値向上に繋げる

サステナビリティを軸に高い
技術力を誇るグローバル建設企業
三井住友建設株式会社 内定

土木工学専攻
北海道/函館ラ・サール高校出身
木村 晃章さん

一身についたこと 学外奨学金 TA
ロハスの池での研究を3年間やり遂げた達成感は大きかったです。現場作業を進めるうちに、段取り力や伝える力が備わったと思います。

一内定先を選んだ理由
新規事業に興味があり、コーポレートレポートも熟読しました。ゆくゆくは浮体式洋上風力発電事業の施工管理に携わりたいと考え、志望した企業です。

多種多様な考え方に触れた
貴重な2年間で
建築の視野を広げる

高性能な住まいで業界トップ
クラスのハウスメーカー
積水ハウス株式会社 内定

建築学専攻
福島県/茨城高校出身
小熊 康太さん

一身についたこと TA
コンペで設計意図を明確に伝えるため、視覚に訴える説明方法が身につきました。新たな人間関係を築く中で多様な考え方に触れ、成長したと感じます。

一内定先を選んだ理由
ヒューマンスケールで設計したいと思い、住宅メーカーに絞って就活。お客様との関わりも深く、設計の自由度が最も高いと感じて選びました。

世界で活躍できる
エンジニアをめざして!
日本大学留学制度を活用

ベアリング(軸受)技術を核に
「なめらかな社会」を目指す
NTN株式会社 内定

機械工学専攻
東京都/海城高校出身
伊藤 慶一さん

一身についたこと 海外短期留学
自主性をもって行動し「能動的」に学修する姿勢を示すことで、自然とコミュニケーション能力や、問題解決力、プレゼン力が養われました。

一内定先を選んだ理由
大好きな自動車に携われる企業、将来海外で活躍したい私のキャリアビジョンにマッチするグローバルメーカーであるということが志望理由です。

企業との共同研究が
貴重な経験になる

最先端のデジタルテクノロジーで
幅広い価値を提供する
日本電気株式会社
(NEC) 内定

電気電子工学専攻
山梨県/山梨学院高校出身
藤巻 隆之介さん

一身についたこと 学内奨学金 学外奨学金 チューター
研究や学会発表で様々な企業と関わる貴重な経験を重ね、自主的に物事に取り組む姿勢や問題解決力、プレゼン力が磨かれました。

一内定先を選んだ理由
通信系の部署だけでなくコンサルタントの仕事もあることに興味を持ち志望。学校推薦を利用して大手企業の選考に進むことができました。

燃料電池の研究を通して、
開発設計としての
資質を磨く

持続可能な社会に貢献する
インフラサービスカンパニー
株式会社東芝 内定

生命応用化学専攻
福井県/丸岡高校出身
灰谷 典子さん

一身についたこと 学内奨学金 学外奨学金 TA
専門的な知識に加え、実験の流れや考え方を学んだことで論理的思考力が身につく、自分の考えを順序だてて相手に伝えられるようになりました。

一内定先を選んだ理由
材料に携わる研究で社会の役に立ちたいと考え、経験を活かせる開発設計職を志望しました。学校推薦を受けられたことも大きな理由です。

外資系のITコンサル企業への
就職につながる大学院での経験

DXの先を見据え、包括的な
価値創出を目指す世界企業
アクセンチュア株式会社 内定

情報工学専攻
茨城県/水戸第二高校出身
小林 亜里紗さん

一身についたこと 学内奨学金 特待生制度 TA
技術力の向上はもちろん、能動性や判断力、集中力が身につきました。向上心のある人々との交流や後輩への指導を通して、人間的にも成長!

一内定先を選んだ理由
外資系企業中心に就活を進める中、チームで課題解決に取り組んだインターンシップでの濃密な時間が大きな刺激となり、志望しました。

大学院進学の特集

大学院進学の特集

質が違う就職先



その選択が実を結ぶ!

04 将来 収入の高さと安定した将来性

■初任給 令和5年賃金構造基本統計調査・厚生労働省公表



学部卒と比べて初任給が高い

■生涯賃金収入

内閣府資料:大学院卒の賃金プレミアム/2014年6月

生涯賃金収入でも大学院修了者が優位



03 就職 希望の就職をかなえる近道

日本大学大学院工学研究科修了者の優れた就職実績。

修了者全体の就職率(2023年度) **95.6%**

大手企業の学校推薦選抜も大学院生が断然有利。

博士後期課程を修了すれば、大学教員への道も開ける。

研究職・技術職採用は大学院修了者の割合が圧倒的に高い

	大学院修了	学部卒
専門的・技術的職種従事者の割合 (文部科学省 令和5年度 学校基本調査卒業後の状況調査票)	78.9%	41.6%
初めて就職した会社を離職した割合 (厚生労働省 令和5年 若年者雇用実態調査の概況)	29.5%	34.1%

02 成長 「ロハス工学」を実践的に学び高度なロハスエンジニアになる

「ロハス工学」を究める最先端の研究を通して、技術者の専門基礎と応用力を身につけられる。

所属研究室の主・副指導教員からマンツーマンで丁寧な指導が受けられる。

高い問題解決能力、コミュニケーション能力や倫理観を養うことができる。



01 進学サポート 経済面でのサポートも充実

工学部・工学研究科からの進学は**入学金免除!!** **20万円**

日本大学工学部第1種奨学金など大学院生対象の奨学金も充実。

TA、チューター、学会発表経費補助などの支援制度。

大学院での活動の支援

●学会等での発表の経費補助【年に1回】

学会発表に係る経費(交通費、現地宿泊費、学会参加費)を**5万円**を上限に補助します。

●ティーチング・アシスタント(TA)【専攻で多数の採用者】

工学部の実習授業の指導補助等にあたり、博士前期課程のTAは業務の時間数に応じて一定の金額が、博士後期課程のTAは**月額5万円**が支給されます。

●日本大学大学院海外派遣奨学生【工学研究科1~2名】

海外派遣(留学)期間は1年間で**最大180万円**が支給されます。海外での研究活動を視野に入れることも可能です。

●医療費補助【申請した者】

在学中に病気やケガをした場合、指定病院で受診すると、**医療費の3割**(窓口支払分)を大学が一定額負担します。

●研究費の助成【博士後期課程の全専攻1~3年次生】

標準修業年限の3年間に博士學位論文の完成を目指し、**年額60万円**を研究活動費として助成します。

奨学金 ※奨学金の給付対象は現時点(R6.11)での内容になり、予告なく変更になる場合があります。奨学金のお問い合わせは学生課(TEL.024-956-8633)

奨学金名称	金額	対象・実績
日本大学工学部奨学金(第1種)	年額 20万円 給付	18名
日本大学大学院工学研究科奨学金	年額 20万円 給付	16名程度
日本大学古田奨学金	年額 20万円 給付	1名
日本大学ロバート・F・ケネディ奨学金	年額 20万円 給付	1名
日本学生支援機構 第一種奨学金(無利子) JASSO	博士前期	月額 5/8.8万円 から選択 貸与
	博士後期	月額 8/12.2万円 から選択 貸与
日本学生支援機構 第二種奨学金(有利子) JASSO	月額 5/8/10/13/15万円 から選択 貸与	申請者

特に優れた業績による返還免除
大学院での研究業績等による実績にて、貸与額を免除します
(工学研究科では申請者の)6割程度が免除!

支援制度を活用して充実した大学院生活を!

Pickup01 チューター制度

チューターは学修支援を通して、自分自身のスキルアップにもなる

数学・物理・化学などの科目についての質問や疑問に答えたり、実験・実習レポート作成のアドバイスをしたり、学部1年次生の学修支援を行うのがチューターの役割です。また、勉強方法や履修登録、研究室選びといった2・3年次生の相談にも対応しています。現在の研究分野ではない有機関連の科目は、教えながら自分自身の復習にもなっています。また、研究の合同を利用して報酬を得ることができるので、アルバイトよりも効率的なところもメリットの一つ。特に私にとって一番の魅力は、授業とは違って先生方ともフランクに話せて、後輩とのつながりもできること。ぜひ、学部生の皆さんにも学科内の交流の場としてチューターを活用してほしいと思います。



生命応用化学専攻博士前期課程1年 安部 優歩さん(山形県/米沢興譲館高校出身) ナノバイオ研究室(指導教員/齋藤義雄教授)

チューター

博士前期・後期課程の大学院生対象とし、主に学部1年次生の数学・物理・化学等に係る個別学修支援業務にあたります。年額約15万円が支給されます。

Pickup02 奨学金制度

研究に集中できる環境を整えてくれた大学院の支援制度

大学院に進学する際、親には負担をかけずに自分で学費を工面したいと考えました。研究に注力できるように奨学金を積極的に利用するようにしました。これまでに、学部生時代の成績や大学院1年次の学業成績と学会活動、学術論文の執筆など研究成果の評価によって、3種類の奨学金に採用していただきました。奨学金を受給することで、アルバイトに時間を割かず済み、研究に専念できることは本当に大きなメリットです。学部生の実験演習授業を補助するティーチング・アシスタント(TA)業務での報酬もあり、経済的支援が充実しているおかげで、非常に有意義な大学院生活を送ることができています。



建築学専攻博士前期課程2年 西 陸登さん(岐阜県/妻太高校出身) 建築材料科学研究室(指導教員/齋藤俊克准教授)

採用された給付奨学金制度

利用した支援

- 日本大学工学部奨学金(第1種)(20万円)
- 日本大学大学院工学研究科奨学金(20万円)
- 日本大学ロバート・F・ケネディ奨学金(20万円)
- ティーチング・アシスタント(前学期6コマ)

太平洋マテリアル株式会社 内定

JASSO奨学金(第一種)の返還免除制度

奨学金の返還免除制度があるのも大学院ならではのメリット。**研究・学修に努め、2年間に200万円のサポート*を受けた先輩も!**
(2023年度は博士前期課程の申請者43名のうち8名が全額、17名が半額免除。博士後期課程の申請者1名が半額免除。)
*各種奨学金、TA、チューターなどの合算

令和8年度 大学院入試(予定)

大学院は博士前期課程(2年)、博士後期課程(3年)に分かれており、学部から博士前期課程、前期課程から後期課程に進学できます。

学部内・研究科内選考推薦入学試験	一般選考(第1期)	一般選考(第2期)
令和7年 7月上旬	令和7年 10月上旬	令和8年 2月中旬

(※試験に合格しておらず、出願資格を満たしている場合は、全試験の受験が可能です。) 詳細はこちら



お問い合わせ // 日本大学工学部 教務課 TEL. 024-956-8623 FAX. 024-956-8888 E-mail. ceb.kyomu1@nihon-u.ac.jp

北桜祭 不屈の桜

～伝統を未来へ共に～



工学部恒例秋の祭典、第74回北桜祭が「不屈の桜 ～伝統を未来へ共に～」をテーマに、10月19日(土)・20日(日)に開催されました。両日共に天候に恵まれ、2日間でのべ4,000人を超える来場者がありました。学生のみならず地域の方々にも大いに楽しんでいただき、賑やかで活気に満ちた工学部キャンパスとなりました。

ステージ企画

根本修克工学部長がご挨拶

オープニング



○×クイズ大会

音楽研究会

日大工学部吹奏楽部×日大東北高校吹奏楽委員会

北桜祭 エンターテインメント ~HOKUOUSAI Entertainment~

ダンスサークル FROLIC

のど自慢大会

北桜祭音楽祭

桜家一門YOSAKORI隊

ビンゴ大会

交通機動隊

オープンキャンパス 実行委員会

模擬店コーナー



高梨珈琲

ゴリラポテト学園 (遠藤研究室)

芋掘り体験

非常食試食体験

俺たちのたこ焼き道~(柔道部)

#にこにこワッフル (日工女ディベート会)

弓道体験

キッチンカー



機械工学 モノづくり工房 サステナブル ロボット部

モダンジャズ研究会

Volunteer&Sports サークル 「お化け屋敷」

動画漫画研究会

サークルの展示発表



サバイバルゲーム同好会

演劇部

写真部

鉄道研究会

創作活動部

滑空研究会

建築研究会& 学生団体Chi縁

自動車部

情報研究会



ロハス工学 体験

ロハスのトイレ

「ロハスの森」

ミニオープンキャンパス



30周年記念館 工学部の歴史 ~写真と資料展~

福島阿波おどり協会

新☆エネルギーコンテスト

北桜くじ

母校を訪ねる会



「母校を訪ねる会」は卒業後50年から10年刻み、5世代に渡る卒業生を対象に、毎年北桜祭と同日に開催しています。本年度は、総勢154名の皆さまにご参加いただきました。

エンディング 北桜祭実行委員会のライブでフィニッシュ!



打上花火 日本大学工学部 校友会後援

学生の活躍

受賞や課外活動で活躍する学生たちを紹介します。

学会等表彰

コンクリート工学年次大会2024で 年次論文奨励賞を受賞

土木工学専攻博士前期課程2年
構造・道路工学研究室
(指導教員/岩城一郎教授・前島拓専任講師)

田中 暁さん
(群馬県/前橋南高校出身)



6月26日(水)から28日(金)に開催された「コンクリート工学年次大会2024(松山)」(公益社団法人日本コンクリート工学会主催)において、土木工学専攻博士前期課程2年の田中暁さんが年次論文奨励賞を受賞しました。田中さんの論文「上面増厚後に層間剥離が生じた道路橋RC床版の再補修工法に関する検討」は、一般財団法人首都高速道路技術センター、ショーボンド建設株式会社、株式会社NIPPOとの共同研究による成果を発表したものです。田中さんは8月29日(木)・30日(金)に行われた「第29回舗装工学講演会」(公益社団法人土木学会主催)でも優秀講演者賞を受賞しています。

土木学会第29回 舗装工学講演会で 優秀講演者賞を受賞

土木工学専攻博士前期課程2年
構造・道路工学研究室
(指導教員/岩城一郎教授・前島拓専任講師)

PENH Otdomさん
(カンボジア出身)



8月29日(木)・30日(金)に行われた「第29回舗装工学講演会」(公益社団法人土木学会主催)において、土木工学専攻博士前期課程2年のPENH Otdomさんが優秀講演者賞を受賞しました。PENHさんが発表した「IMPROVEMENT THE ACCURACY OF ASPHALT PAVEMENT INSPECTION WITH FWD BACKCALCULATION:A CASE STUDY IN CAMBODIA」(和訳:FWDの逆解析におけるアスファルト舗装の検査精度向上:カンボジアにおける事例研究)は、日本と母国であるカンボジアの双方で実施した研究成果として高く評価されました。



土木学会年次学術講演会優秀講演者表彰を受賞

土木工学専攻博士前期課程2年
コンクリート工学研究室(指導教員/子田康弘教授)

安達 遥希さん(福島県/安達高校出身)

9月2日(月)から6日(金)に行われた「令和6年度土木学会全国大会 第79回年次学術講演会」において、安達遥希さんが優秀講演者表彰に輝きました。安達さんが発表した「砂利化部および版面の補修を施したRC床版の耐疲労性に関する実験的検討」は、既存の橋を長持ちさせるために、劣化して砂利ようになったRC(鉄筋コンクリート)床版の補修方法を検討するとともに、RC床版の耐疲労性を検証したものです。社会基盤構造物の老朽化が進む昨今、新たな応急的な補修として道路橋床版の維持管理の選択肢の幅を広げる手法の考案が高く評価されました。

第2回 フィッシングサイト撲滅チャレンジカップ 全国第6位! 県警からも表彰

情報工学科3年

左から クラロス ミカエル 銀河さん(岩手県/黒沢尻工業高校出身)
木下 豪さん(福島県/日本大学東北高校出身)
楠美 新快さん(青森県/弘前南高校出身)

7月22日(月)から29日(月)までオンラインで開催された「第2回フィッシングサイト撲滅チャレンジカップ」(一般財団法人日本サイバー犯罪対策センター(CJ3)主催)に、情報工学科 林隆史教授(情報基礎論・セキュリティ研究室)のもとで情報セキュリティとそのシステムを学ぶ3年次生の木下豪さん、楠美新快さん、クラロスミカエル銀河さんが出場し、全国第6位という好成績を収めました。サイバー犯罪の被害拡大防止に貢献したとして、3名は9月3日(火)に福島県警サイバー犯罪対策課長賞の表彰も受けました。

第43回 電子材料シンポジウムで EMS学生奨励賞を受賞

電気電子工学専攻博士前期課程1年
光通信デバイス研究室
(指導教員/俵毅彦教授)

濱崎 妙子さん
(福島県/福島東高校出身)



10月2日(水)から4日(金)に行われた「第43回電子材料シンポジウム(EMS43)」において、電気電子工学専攻博士前期課程1年の濱崎妙子さんがEMS学生奨励賞を受賞しました。濱崎さんが発表した「スペクトルホールバーニング技術を用いた¹⁹²Irのスペクトルホールの時間発展」は、次世代パワーデバイスや光デバイスに関する研究発表が多い中、量子情報通信の核となる光子メモリの研究を進めるものとして、注目を集めました。

第28回JIA東北建築学生賞 優秀賞を受賞

建築学科4年
建築計画研究室
(指導教員/浦部智義教授)

三瓶 夏蓮さん
(福島県/郡山北工業高校出身)



10月4日(金)に「第28回JIA東北建築学生賞」公開審査が行われ、三瓶夏蓮さんの作品「ミライは学校-普通は変化する-」が優秀賞を受賞しました。この作品は前学期の建築設計の授業課題「フクシマの未来を変える建築」の中から、学内選考により選出されたものです。三瓶さんは、原発事故の影響が大きい被災地である双葉町において、今後の「教育の器」の在り方を再考。学校を中心とした地域コミュニティを再形成し、教育から双葉町の未来を計画。時間軸も含め、被災地に寄り添い建築を使う人々への思いが伝わる点が高く評価されました。

日本インテリア学会 第31回卒業作品展 優秀作品賞を受賞

2023年度建築学科卒業
建築計画研究室
(指導教員/浦部智義教授)

大和ハウス工業株式会社勤務
本間 しおりさん
(福島県/郡山東高校出身)



11月9日(土)・10日(日)に行われた「日本インテリア学会第31回卒業作品展」において、本間しおりさんが卒業設計で取り組んだ作品「ここ路-際で交わる大小の足跡-」が優秀作品賞を受賞しました。この作品は、多様化する社会において地域と学校との新しい関係性や学校が抱える課題に着目し、建築の計画・設計での問題解決を目指したものです。学内の最高賞である「桜建賞」を受賞した作品でもあり、学内外から高い評価を得ています。

サークル

鉄道研究会



「阿武隈急行線」の貸切臨時運行 及び梁川車両基地の見学を開催

8月5日(月)に鉄道研究会(学術文化サークル連合会/代表機械工学科3年 佐藤智哉さん・茅野聖也さん)が、福島県の福島駅から宮城県の槻木(つきのき)駅を結ぶ「阿武隈急行線」において、「夏だ!福島だ!阿武隈急行だ!」と題し、貸切臨時運行及び梁川車両基地の見学を企画・開催しました。鉄道好きな学生同士の交流もやりたいと考え、東北大学及び福島学院大学から各1名、本学生産工学部から6名、文理学部から1名にも参加いただき、学生と教員を含め合計33名で開催。参加者からは、「貴重な体験をすることができて、とても良かった」などの感想をいただきました。

起業サークル



令和6年度「Fukushima Tech Create」 ビジネスアイデアコンテストで イノベ機構インキュベーション賞を受賞

令和6年度「Fukushima Tech Create」ビジネスアイデアコンテスト(イノベのたまご2024)(福島県、公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構主催)が開催され、起業サークル(連合体未加盟団体)が「植生浮島技術による農業展開ロハスな空心菜」でイノベ機構インキュベーション賞を受賞しました。ロハスの池プロジェクトの一環として取り組んでいる古川池水質浄化を目的とした植生浮島で栽培された空心菜を販売し、プロジェクトの社会発信と事業の発展継続を目指すアイデアです。

オープンキャンパス実行委員会

ロハスの畑プロジェクトが サツマイモの 収穫祭を開催!

10月21日(月)、「ロハスの畑プロジェクト」が育ててきたサツマイモの収穫が行われました。オープンキャンパス実行委員会が工学部キャンパス内の約3アールの畑でサツマイモを育てるこのプロジェクト。今年で2回目となる取り組みで、引き続きJA福島さくら様のご協力により、生分解性マルチやくわなどの農業資材の提供、ほ場作りから耕運機の使用法、定植作業などをご指導いただきました。収穫したサツマイモは11月17日(日)に、JA福島さくら農産物直売施設あぐりあにて「焼き芋」と「袋詰め」として販売も行われました。



サイクリング部

実業団チーム結成!

写真左) 電気電子工学科3年

小林 瑞宝さん
(栃木県/宇都宮北高校出身)

写真右) 機械工学科3年

茅野 聖也さん
(群馬県/館林高校出身)



サイクリング部(学術文化サークル連合会)のメンバーである小林瑞宝さんと茅野聖也さんが、今年の2月に実業団チーム「日本大学工学部」を立ち上げました。スポンサーシップの獲得は個人的なつながりからで、小林さんと茅野さんのアルバイト先の企業の親会社から自転車レースの大会に協賛していたことを知り、直接掛け合いました。スポンサー価値を高めていかなくてはならないというプレッシャーを感じながらも、数々の大会で優勝し、結果を残しています。

射撃部

全日本学生スポーツ 射撃選手権大会準優勝

土木工学科3年

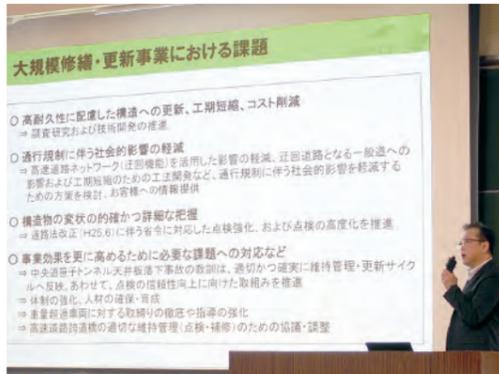
橋本 青依さん
(福島県/日本大学東北高校出身)



10月17日(木)から20日(日)に開催された2024年全日本学生スポーツ射撃選手権大会10Mエアピストル女子立射60発競技において、射撃部(体育会)の橋本青依さんが個人2位という素晴らしい成績を収めました。高校時代は主にライフル競技に出場し、大学に入ってからピストル競技1本に絞られ、徐々に実力をつけてきた橋本さん。海外でも活躍するハイレベルな学生たちが集結した中、惜しくも1点差で優勝には届かなかったものの、これまでの成績からジャンプアップしての準優勝。今後への期待も高まっています。

土木工学科

業界の第一線で活躍する技術者が講義する「社会基盤概論」を開講



土木工学科では、本年度より学部3年次生を対象に社会基盤整備に直接携わる企業や役所の技術者が実社会での整備プロセスについて講義するカリキュラムを設置。都市、河川、道路、鉄道、電力、橋梁、トンネル、港湾、水道など実社会における様々なインフラ整備の実施プロセスについて理解を深めました。



学生の声

- 就職活動を始める前に幅広く業界研究をするきっかけになった。
- 土木が社会基盤を支えていることを改めて実感できた。
- 具体的な仕事の内容についても知ることができた。

建築学科

隈研吾氏監修の「魅せる工場」の建設現場を見学



建築学科では、「福島おおぞらインター工業団地」内の新工場建設現場見学会を実施し、学部2年次生から大学院生までの約40名の学生が参加。芦原太郎氏が設計、隈研吾氏が監修、株式会社安藤・間が工事を担当する工場の建物の構造、施工方法、設備の配置などを直接見る事ができました。



学生の声

- 施工途中の現場を見られたのは大変貴重。
- 現場のワクワクするような臨場感を味わえた。
- 自分が身につけた設計の知識によって実際に建物が建つことがわかった。

機械工学科

エコラン出場！機械工学モノづくり工房モビリティデザイン部会



機械工学科公認学生活動団体として、次世代の新しい乗り物の提案を目的に、国内のエコラン競技大会、デザインコンテストに参加するモビリティデザイン部会。9月15日(日)にモビリティリゾートもてぎレーシングコースで行われた「2024 Ene-1 MOTEGI GP」への出場を果たしました。



学生の声

初めての大会出場でたくさんのトラブルを抱えながらも、自分たちが作製した車体が実際にコースを走行することができたのはとても良かった。この経験を今後の活動に活かしていきたい。

電気電子工学科

最先端の半導体パッケージング製造プロセスを見学



電気電子工学科では、半導体・電子デバイスを製造しているアルス株式会社の視察ツアーを行いました。学部3年次生から大学院生まで約30名の学生が参加。半導体がどのように作られているのか説明を聞きながら、製品を量産する工場や品質検査の現場を実際に見ることができました。



学生の声

- 半導体への興味、理解を深めることができた。
- 大学での学びと仕事を紐付けることができて有意義だった。
- 就職活動を進めるにあたり、貴重な体験となった。

生命応用化学科

業界の基礎的な知識や最新の情報を知り進路選択に役立てる



生命応用化学科では、将来の進路選択に役立つ業界研究セミナーを1日1社限定で17回実施。様々な業界をリードする企業から直接説明を聞くとともに、その企業で活躍する卒業生からの話も伺いました。



【参加企業】(株)東芝、(株)朝日ラバー、日本化学工業(株)、相互薬工(株)、(株)江東微生物研究所ほか

学生の声

- 幅広い業界があることを知って視野が広がった。
- 先輩の話には自分の就活にも役立つ情報があった。
- 化学分野のアプローチから様々な製品を産み出していることがわかった。

情報工学科

「WWWとJavaプログラミング及び演習」でIT技術が向上



Web・PC・スマホなどのアプリケーションや金融機関のATMにも使われるJava言語を用いたオブジェクト指向ソフトウェア開発を学ぶ授業。基礎を身につけるとともに、ATMを模したアプリを使ってオリジナルのプログラム開発にも挑戦し、才能を開花させる学生もいます。



学生の声

- 新しい技術を使い自分でプログラムを開発できて達成感があった。
- 友人や後輩にJavaを教えた時、身につけていることを実感して嬉しかった!
- 学んだ知識を別の授業でも活用できて感動した。

24時間テレビ47

工学部キャンパスを会場に
多彩なイベントが開催！



8月31日(土)・9月1日(日)、47回目を迎える日本テレビ系列『24時間テレビ』が開催され、福島メイン会場となった工学部キャンパスには延べ1万人を超える大勢の方々にご参加いただきました。“愛は地球を救うのか？”のチャリティに身を包んだボランティアの学生と教職員が大活躍しました。

ふしぎがいっぱい！日大工学部実験ランド



募金活動



工学部と福島中央テレビのコラボ企画 バリアフリーコース



24時間テレビチャリティー委員会より 感謝状が贈呈されました

初めて福島メイン会場となったことで、本学部としまでもイベントを通して来場者の方と交流ができる良い機会となりました。今後も学生・教職員一丸となって、様々な活動で地域・社会貢献活動を進めて参ります。



ステージ背景デザインには「ico.」(いこ)として活躍しているイラストレーター物江麻衣子さんによって日本大学工学部を中心とした郡山市の街並みが鮮やかに描かれました！

令和6年度 科学研究費助成事業交付者

令和5年度の科学研究費助成金及び委託研究費、研究奨励寄付金の総額は383,628,251円でした。今年度、工学部では以下の研究が科学研究費助成事業に採択されました。

研究種目	学科	資格	代表者氏名	研究課題名	今年度交付額(円)		研究期間(年度)
					直接経費	間接経費	
基盤研究(B)	土木	教授	中野 和典	下水処理の脱炭素化と高度化に資する人工湿地技術の開発とパイロットスケールでの検証	3,900,000	1,170,000	R4-R6
	建築	教授	サンジェイ・パリーク	喪失技術としての炭滓・鉱滓煉瓦の復元-現代インドの複合SDGs課題解決に向けて-	3,600,000	1,080,000	R5-R8
	電気電子	教授	依 毅彦	磁気的純化固体原子系の創成と量子メモリ応用に関する研究	3,000,000	900,000	R4-R6
	生命応用	教授	平野 展孝	植物バイオマス分解酵素複合体(セルロソーム)の体系的な相乗効果ネットワーク解析	3,900,000	1,170,000	R3-R6
基盤研究(C)	情報	准教授	大山 勝徳	時間分解分光法で推定した脳萎縮度を用いる軽度認知症の新スクリーニング検査法の確立	1,900,000	570,000	R4-R6
	土木	教授	仙頭 紀明	地震中の排水を考慮した礫質地盤の液状化評価スキームの構築	400,000	120,000	R5-R7
	土木	准教授	阿部 慶太	補強材の部材抵抗に着目したもたれ壁の新規補強法の提案	1,200,000	360,000	R5-R7
	土木	准教授	川崎 洋輔	センシングデータを用いた災害時のロバストな交通異常検知手法の開発	1,000,000	300,000	R4-R6
	建築	教授	速水 清孝	「開かれた建築」の概念に関する歴史的研究-20世紀後半の日本の公立美術館を中心に-	1,000,000	300,000	R5-R7
	建築	准教授	齋藤 俊克	PCM被覆時の吸水調整材によるプライマー処理がコンクリートの耐久性に及ぼす影響	1,000,000	300,000	R5-R7
	建築	准教授	山田 義文	特別養護老人ホームにおける建築環境特性別の重度化対応及び災害時対策に関する研究	300,000	90,000	R4-R6
	建築	専任講師	山岸 吉弘	中近世東国における大工棟梁の建築生産的研究	1,100,000	330,000	R6-R9
	機械	准教授	下権谷 祐児	細菌遊泳を駆動するべん毛運動の同期性の研究	1,300,000	390,000	R6-R8
	電気電子	教授	逸藤 拓	学生実験の遠隔化を目指した新しい教授法の提案	100,000	30,000	R4-R6
	電気電子	教授	四方 潤一	負誘電率周波数帯の表面電磁波共鳴を用いたテラヘルツイメージングの研究	600,000	180,000	R4-R6
	電気電子	教授	高田 聡	接地面の傾斜化による歩行動作習得の主体的な学習支援方法の確立	1,200,000	360,000	R5-R7
	電気電子	准教授	村山 嘉延	就寝時皮膚温が示すウルトラディアンリズムの変化から排卵日を予測する	2,800,000	840,000	R6-R8
	電気電子	専任講師	道山 哲幸	癌治療を対象としたハイパーサーミアの万能型生体深部加熱装置の開発	2,200,000	660,000	R6-R8
	生命応用	教授	石原 務	細胞内抗原を標的とした新型抗体医薬の開発	1,300,000	390,000	R5-R7
	情報	教授	上田 清志	無線マルチホップネットワークによる小型無人移動機の最適経路構築管理方式の確立	1,200,000	360,000	R6-R8
	情報	准教授	宮村 倫司	構造連成系の詳細解析モデルの一部次数低減化手法とそれに適した線形ソルバーの開発	800,000	240,000	R6-R9
	情報	准教授	関澤 俊弦	モデル検査を用いたプログラミング課題評価と課題提出システム構築	1,700,000	510,000	R6-R8
	総合教育	教授	中野 浩一	欧米での身体教育の概念の起源とその変遷:二つの身体(生体・媒体)に基づく検討	600,000	180,000	R2-R6
総合教育	教授	野田 工	ゼータ母関数族と多重保型形式の相互構築	700,000	210,000	R4-R6	
総合教育	准教授	川崎 和基	17世紀イングランド内乱期宗教的寛容の異端性	700,000	210,000	R3-R7	
総合教育	専任講師	金子 千香	ネオラテン・英語言説圏におけるミルトンの国民概念と英雄親生成の軌跡を解明する	900,000	270,000	R5-R9	
総合教育	専任講師	古河 美喜子	テクストの二重性-ロバート・ヘリックの詩における芸術的価値と政治的価値-	400,000	120,000	R4-R6	
総合教育	助教	増田 圭佑	20世紀転換期ロンドンにおける学校児童に対する医療・衛生の規範化の歴史的研究	270,000	81,000	R4-R6	
挑戦的研究(開拓)	建築	教授	サンジェイ・パリーク	安全・低環境負荷・低コストを特徴とするコンクリート全固体蓄電池の開拓	3,500,000	1,050,000	R4-R8
若手研究	生命応用	教授	平野 展孝	原核細胞内における人工的な代謝反応区画(メタボソーム)の創出	1,000,000	300,000	R4-R8
	土木	専任講師	前島 拓	アスファルト舗装下における床版の砂利化およびポットホール発生機構の解明	1,000,000	300,000	R5-R7
	土木	専任講師	石橋 寛樹	地域の防災力向上を目指したレジリエンスに基づく橋梁の補強優先度判定	400,000	120,000	R3-R7
	建築	専任講師	堀川 真之	地震力を受けるRC構造物のポストピーク挙動評価に基づく性能評価解析手法の研究開発	600,000	180,000	R5-R7
	機械	専任講師	今林 亘	データ駆動型制御器を利用したオンライン調整型2自由度制御系の開発	1,000,000	300,000	R4-R6
	電気電子	専任講師	石川 瑞恵	シリコンスピニング電界効果トランジスタの高性能化を実現する低界面粗さ構造の創製	3,600,000	1,080,000	R6-R8
国際共同研究 加速基金 (海外連携研究)	電気電子	助教	江口 卓弥	Si系Li-ionキャパシタの劣化機構に基づいた高耐久性Si負極の開発	400,000	120,000	R5-R7
研究活動 スタート支援	総合教育	准教授	高木 秀有	高分解能TEM観察によるPLC発現メカニズムの解明と固溶強化原理の探究	2,700,000	810,000	R6-R9
特別研究員奨励費	電気電子	特別研究員(DC2)	田村 成	回路の対称性に着目したビーム走査アンテナの広帯域化	1,000,000	300,000	R6-R7
合計	採択件数合計39件			新規小計	19,200,000	5,520,000	
	内訳 新規代表11件 継続代表28件			継続小計	35,870,000	10,761,000	
				合計	55,070,000	16,281,000	

は新規採択者